

胃カメラ 同意書

【胃内視鏡検査の目的】

貧血や腹痛などの原因検索、胃癌などの悪性疾患の検索

【検査の手順】

- ① 胃の中を見やすくするシロップを飲みます。
- ② 次に鼻腔を広げる薬をスプレーします。
- ③ 鼻に柔らかいチューブを挿入し、ゼリー状の麻酔薬で鼻に麻酔をします。
- ④ 胃の動きを止める注射を行った後に、ベッドに横になっていただき検査を開始します。
(患者様の病状などにより注射を行わないこともあります。)

【検査内容】

- ① 内視鏡を鼻から挿入し、食道・胃・十二指腸を観察します。
- ② 必要に応じて色素（インジゴカルミンやルゴール）を散布したり、組織の採取（生検）を行います。（採取した組織は専門の施設で顕微鏡検査を行い、良性か悪性かを調べます。）

【偶発症】

胃内視鏡検査では、以下の偶発症が起きる可能性があります。 1) 胃内視鏡により粘膜に傷がつくことや、出血、穿孔(穴があくこと) 2) 生検により出血、穿孔 3) 薬剤によるアレルギー(呼吸困難、血圧低下など) 4) 検査前からあった疾患の悪化(症状の出ていなかった疾患も含む)

当院では偶発症の防止のために十分な注意を払っていますが、万が一偶発症が発生した場合には最善の対応をいたします。

平成 年 月 日 加藤内科 院長 林 隆男

上記の事項について説明を受け、十分に理解しましたので、その実施に同意いたします。

平成 年 月 日

受診者署名

受診者代理署名

(続柄)
